

第67回 埼玉大学脳科学セミナー

主催: 埼玉大学脳末梢科学研究センター

視床下部神経による睡眠覚醒と記憶の制御 Regulation of sleep/wakefulness and memory by the hypothalamic neurons

山中章弘 先生

名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野Ⅱ 教授

日時: 2016年 2月 24日 (水) 16:00 ~ 17:00

場所: 理学部 2号館 8番教室

視床下部に存在するペプチド作動性神経である、オレキシン産生神経やメラニン凝集ホルモン(MCH)産生神経は、睡眠覚醒や摂食・飲水行動などの本能行動に極めて重要な役割を担っている。これらの本能行動は、種の存続に関わる重要な行動であり、また丸ごとの動物でのみ発揮される行動であることから、その調節メカニズムの解明には、丸ごとの動物を用いる必要がある。光遺伝学や薬理遺伝学を用いると、丸ごとの個体動物を用いて、特定の神経活動を操作することが可能となり、特定の神経活動によって引き起こされる行動を解析することで、神経活動と行動発現との因果関係を明らかにすることができる。本セミナーでは、視床下部のオレキシン産生神経やMCH産生神経細胞に対して、光遺伝学や薬理遺伝学を適用し、神経活動操作を行ったときに表出する行動を解析し、睡眠覚醒調節や記憶形成における影響を解析した最近の研究について紹介する。

脳末梢科学研究センターは定期的に脳科学セミナーを開催しています。誰でも自由に参加出来るセミナーですので、奮ってご参加下さい。詳しくはHPをご覧ください。 <http://subsai.saitama-u.ac.jp/>

問合せ: 脳末梢科学研究センター 中井淳一 内線5140